

越谷市住まい・まちづくり大学

住まい・まちづくりの担い手発掘・育成を目指す「越谷市住まい・まちづくり大学」は、2012年の開校以来5年間、毎年テーマを定め6～7回シリーズの連続講座で、後半ワークショップの研究成果を越谷市景観シンポジウムで発表してきました。受講者総数は延べ598人、修了証書授与者は51名になりました。

この実績と蓄積を活かし、今年度・第6期目からはオープンセミナー方式で開催します(3回予定)。興味のあるテーマを選び、その都度自由に参加いただけます。主に、過去当大学を受講された方を対象に、学んだことをさらに深く掘り下げ、それぞれが提言されたまちづくりを実現させるために役に立つ学際的なテーマを取り上げます。もちろん、住まい・まちづくりに興味あり、学びの意欲のある方ならどなたでも受講できます。



2017 Open Seminar Vol.2

テーマ:まちづくり、地域に見合った土地利用について考える。

講師:埼玉県都市整備部都市計画課 総務・企画担当 主幹 武田 敦弘氏

2017

10月13日 金

19:00~21:00 (18:40開場)

会場 越谷市市民活動支援センター活動室
越谷市弥生町16番1号 越谷ツインシティBシティ5階

交通 東武スカイツリーライン 越谷駅東口から徒歩1分
http://koshigaya-activity-support.info/?page_id=16

参加費 無料

定員 先着30名

■主催:越谷市住まい・まちづくり協議会
NPO法人越谷市住まい・まちづくりセンター

■後援:越谷市

■協力:日本大学大学院理工学研究科不動産科学専攻

埼玉県の都市計画の基本指針である

「まちづくり埼玉プラン」についてお話をいただき、越谷市の土地利用について考えます。

首都圏住宅都市として発展してきた越谷市では、大量に供給されてきた戸建住宅が老朽化し空き家になり、やがて空き地になるスポンジ現象が始まっています。このような状況を好機と捉え、空き地や空き家を活かして多様な都市空間を生み出したり、既成市街地の再整備により豊かな居住空間を創出するため、その方策を考えまちづくりに反映する事は、行政はもとより、事業者や住民にとっても急務といえます。

また、空き家・空き地のみならず、2022年には生産緑地の指定解除が迫っており、新たに大量の住宅用地が生まれることが懸念されます。緑豊かなまちづくりのためにもグリーンインフラとしての都市農地の利活用も重要な課題です。

このように、今後発生する身近な現象から、地域に適した土地利用のあり方を考え、越谷市の住まい・まちづくりに活かしていきたいと考えています。



【お問合せ・申込先】 越谷市住まい・まちづくり協議会事務局 (〒343-0806 埼玉県越谷市宮本町2-185-12)

TEL.048-965-5358 メール:koshigaya.sumamachi@gmail.com

【応募方法】 席に余裕がない場合はお断りすることがありますので、必ずメールにて事前登録をお願いします。

件名を「10月13日セミナー受講申込」とし、お名前、住所、電話、メールアドレスをお知らせください。

なお、ホームページのお問い合わせフォームからもアクセスできます。

